1:20,000火山土地条件図「鶴見岳・伽藍岳」

国土地理院

資料2-2

1:20,000 火山土地条件図
LAND CONDITION MAP OF VOLCANO

TSURU MI DAKE GA RAN DAKE

鶴見岳・伽藍岳

火山地形

火山地形 — 火山活動によって形成された地形

火口 — 火山物質が吹き出した開口部

火口地形 — 火口部に形成された凹地形

火口縁 — 形状が明瞭な火口の外縁

火口縁(不明瞭) — 形状が不明瞭な火口の外縁

火口状地形線 — 火山の可能性のある同地形地図が高密度の外縁

Vc 火口域 — 火口の内側に形成された地域

Vb 火口底 — 火口の下部に形成された平坦部

鶴見岳・伽藍岳の火山地形

鶴見岳・伽藍岳を中心とする火山活動によって形成された地形

約1万年前～約7千年前に形成された火山地形

約1万年前～約7千年前の活動によって鶴見岳・伽藍岳周辺に形成された火山地形

溶岩円頂丘 — 粘性の高い溶岩によって形成されたドーム状又は台地状の地形

TBD 鶴見岳山頂溶岩円頂丘 — 鶴見岳頂部に分布する溶岩円頂丘

TBDc 末端崖・側縁崖等 — 溶岩円頂丘の末端・側方等に見られる急斜面

TBDr 崖錐部 — 溶岩円頂丘の形成時に崩落した溶岩片が斜面下部に堆積してできた斜面

溶岩流地形 — 溶岩流の流下によって形成された土に畝状の地形

TBL 鶴見岳山頂溶岩流 — 鶴見岳頂部に分布する溶岩流

TBLc 末端崖・側縁崖等 — 溶岩流の末端・側方等に見られる急斜面

TBLl 溶岩堤防 — 溶岩流の流下に生じた畝状の高まった部分

約2.9万年前～約1万年前に形成された火山地形

約2.9万年前～約1万年前の活動によって鶴見岳・伽藍岳周辺に形成された火山地形

溶岩円頂丘 — 粘性の高い溶岩によって形成されたドーム状又は台地状の地形

UMD 内山南溶岩円頂丘 — 内山の南側に分布する溶岩円頂丘

UMDc 末端崖・側縁崖等 — 溶岩円頂丘の末端・側方等に見られる急斜面

UMDr 崖錐部 — 溶岩円頂丘の形成時に崩落した溶岩片が斜面下部に堆積してできた斜面

GBD 伽藍岳溶岩円頂丘 — 伽藍岳頂部に分布する溶岩円頂丘

GBDc 末端崖・側縁崖等 — 溶岩円頂丘の末端・側方等に見られる急斜面

GBDr 崖錐部 — 溶岩円頂丘の形成時に崩落した溶岩片が斜面下部に堆積してできた斜面

UID 内山溶岩円頂丘 — 内山頂部に分布する溶岩円頂丘

UIDc 末端崖・側縁崖等 — 溶岩円頂丘の末端・側方等に見られる急斜面

UIDr 崖錐部 — 溶岩円頂丘の形成時に崩落した溶岩片が斜面下部に堆積してできた斜面

NPD 南平台溶岩円頂丘 — 鶴見岳の南西側に分布する溶岩円頂丘

NPDc 末端崖・側縁崖等 — 溶岩円頂丘の末端・側方等に見られる急斜面

NPDr 崖錐部 — 溶岩円頂丘の形成時に崩落した溶岩片が斜面下部に堆積してできた斜面

溶岩流地形 — 溶岩流の流下によって形成された土に畝状の地形

OYL 丸尻山溶岩流 — 伽藍岳西方に分布する溶岩流

OYLc 末端崖・側縁崖等 — 溶岩流の末端・側方等に見られる急斜面

OYLl 溶岩堤防 — 溶岩流の流下に生じた畝状の高まった部分

OYLw 溶岩しわ — 溶岩流の表面に生じた土手状のしわ

NPL 南平台溶岩流 — 南平台溶岩円頂丘の東南側に分布する溶岩流

NPLc 末端崖・側縁崖等 — 溶岩流の末端・側方等に見られる急斜面

スコリア丘 — 主にスコリアやスコリア質溶岩で形成される火山砂礫丘

OYSC 丸尻山スコリア丘 — 伽藍岳南方に分布するスコリア丘

約6万年前以前に形成された火山地形

約6万年前以前の活動によって鶴見岳・伽藍岳周辺に形成された火山地形

溶岩円頂丘

UBD 鶴見岳基盤溶岩円頂丘 — 鶴見岳のふもとや伽藍岳の可能性がある溶岩円頂丘

UBDc 末端崖・側縁崖等 — 溶岩円頂丘の末端・側方等に見られる急斜面

UBDr 崖錐部 — 溶岩円頂丘の形成時に崩落した溶岩片が斜面下部に堆積してできた斜面

UBDd 凹地 — 溶岩円頂丘の頂部に分布する凹地

溶岩流地形 — 溶岩流の流下によって形成された土に畝状の地形

UBL 鶴見岳基盤溶岩流 — 鶴見岳外輪の東麓から南麓にかけて分布する溶岩流

UBLc 末端崖・側縁崖等 — 溶岩流の末端・側方等に見られる急斜面

水口山の火山地形

水口山の南西麓を中心とする火山活動によって形成された地形

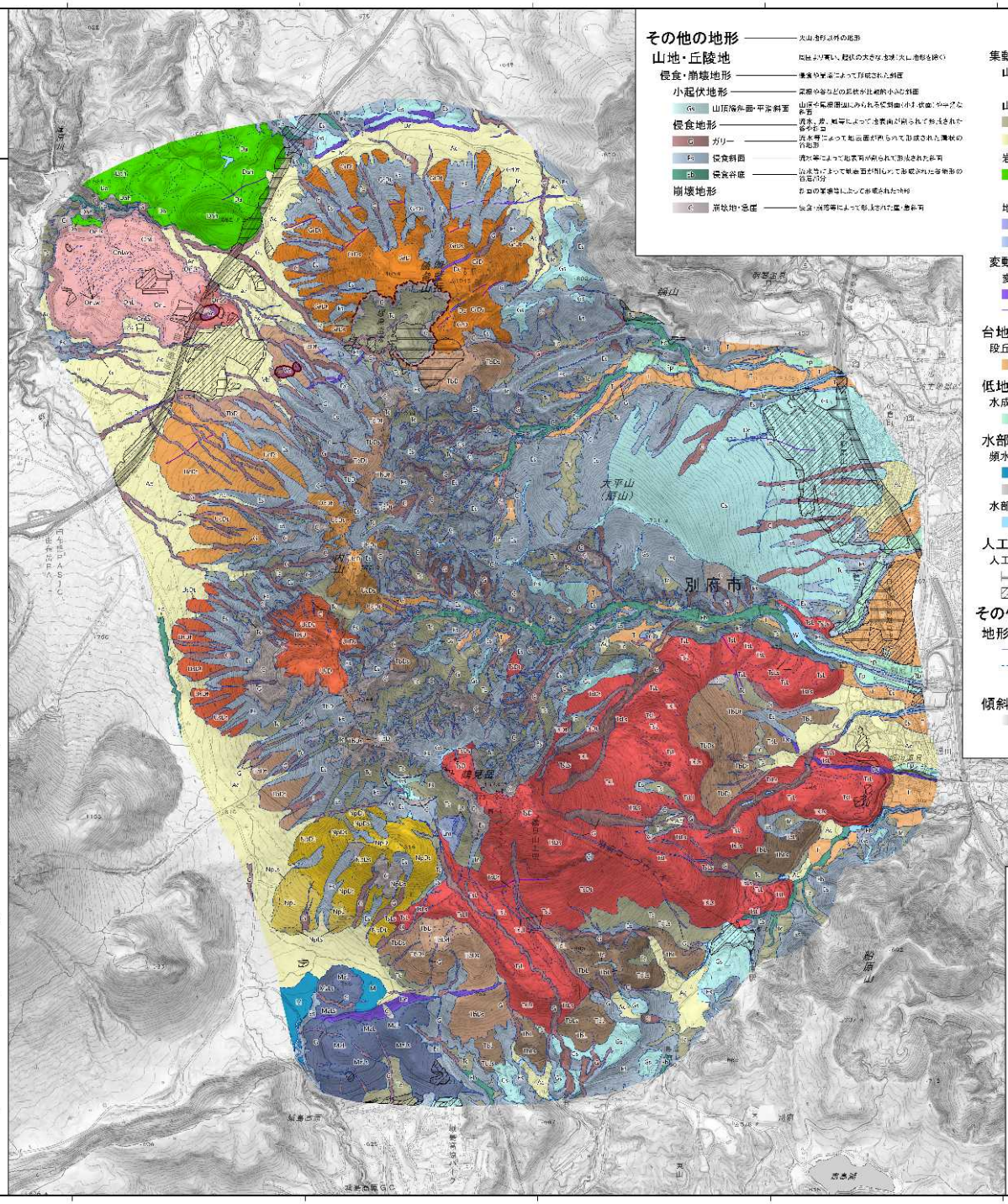
約13万年前以前に形成された火山地形

約13万年前以前の活動によって鶴見岳の南麓が新に形成された火山地形

溶岩流地形 — 溶岩流の流下によって形成された地形

MYL 水口山溶岩流 — 鶴見岳の南西麓に分布する溶岩流

MYLc 末端崖・側縁崖等 — 溶岩流の末端・側方等に見られる急斜面



その他の地形

その他の地形 — 火山活動以外の地形

山地・丘陵地 — 周囲より高い、起伏の大きな地域(火山地形を除く)

侵食・崩壊地形 — 侵食や崩壊によって形成された斜面

小起伏地形 — 緩傾斜なだらかな起伏が比較的小さい斜面

Gc 山麓緩斜面・平坦斜面 — 山麓や盆地周縁にみられる低斜面(小起伏面)やテラス状平面

侵食地形 — 流水、波、風等によって地表面が削られて形成された地形

G ガリー — 流水等によって地表面が削られて形成された溝状の凹地形

Fs 侵食斜面 — 流水等によって地表面が削られて形成された斜面

Eb 侵食谷底 — 谷底部によって地表面が削られて形成された谷地形の低平部分

崩壊地形 — 重力の作用等によって形成された地形

C 崩壊地・急崖 — 崖錐・崩落等によって形成された崖・急斜面

集動地形 — 重力の作用によって物質が斜面下方に移動することで形成された地形

山体重力変形地形 — 山体が重力の作用によって変形して形成された地形

亀裂・段差等 — 主に山体の重力変形に伴って地表に形成された亀裂や不連続な段差

山麓堆積地形 — 斜面の下方又はその出口部において、岩屑が堆積した斜面

Tc 崖錐・崩落堆・崩壊面 — 斜面崩壊や落石等によって形成された岩屑が谷口下部に堆積した斜面

Ac 土石流堆積面・沖積錐 — 土石流等によって運搬された岩屑が谷の出口部に堆積した斜面

岩屑なだれ堆積地形 — 山体崩壊等によって発生した岩屑なだれ堆積物からなる地形

Bc 岩屑なだれ堆積面 — 岩屑なだれ堆積物からなる平坦面又は緩斜面

Bh 流れ山(小丘) — 岩屑なだれ堆積面上に形成された岩屑なだれ堆積物からなる小高い丘

地すべり地形 — 地すべりによって形成された地形

Ls 地すべり地形(滑落崖) — 山体の一部が土塊として下方に移動して形成された地形のうち、特徴的なもの

Lm 地すべり地形(移動体) — 山体の一部が土塊として下方に移動して形成された地形のうち、移動した土塊の部分

変動地形 — 地殻の変動によって形成された地形

変位地形 — 地殻変動によって地表が変形して形成された地形

Ds 変位地形崖 — 地表が急傾斜として形成された崖・段丘面

変位地形面 — 地表が変形して形成された平坦部

台地 — 周囲を急な斜面に囲まれた広い平坦面をもつ高台

段丘地形 — 隆起運動によって海底が陸化した平坦な地形面

T 段丘面 — 段丘の上面のほぼ平坦な地形面

低地 — 河川、湖、海沿いの周囲より低い平坦な地域

水成地形 — 河川や海の作用によって形成された地形

Fp 谷底平野・氾濫原 — 河川や水流の堆積作用によって形成された平坦な地形

水部等 — 常時又は季節に水が存在する地域

頻水地形 — 頻繁に冠水する地域の地形

M 湿地 — 地下水位が高く浅く、水はけが悪くて湿っぽい土地

Ri 河川敷 — 高水時に冠水する河川沿いの土地

水部 — 常在又は季節の水面

W 水部 — 海・湖・河川などの、常在の水面

人工改変地 — 人工的に地表が改変された地域

人工地形 — 人工的に地表が改変された地域の地形

切土地 — 盛域地のうち、切取りによる平坦地や傾斜地

盛土地・造成地 — 盛域地のうち、土砂等によりかさ増しされた平坦地や傾斜地

その他

地形界線

地形界 — 明瞭な地形境界

地形界(不明瞭) — 不明瞭な地形境界線

細分割地形界 — 同じ地形を細分割する地形境界線

傾斜量

傾斜量 — 斜面の傾き(0～60°)をグラデーションで表現したもの(表現されない地域:

摘 要

1. 投影はユニバーサル横メルカトル図法
2. 高さの基準は東京湾の平均海面
3. 基図は電子地形図25000(令和7年11月調製)
4. 地形界線は5万分の1地質図幅「別府」*等を参考に、DEMや空中写真による判読、現地調査等を行い描入
5. 令和7～8年調査・編集

*星住英夫・小野晃司・三村弘二・野田徹郎(1988):地域地質研究報告5万分の1地質図幅「別府」第四、14、第75号、地質調査所。

1:20,000

0 500 1,000 1,500 m

この火山土地条件図の複製等については測量法の定めによる

令和 8 年 5 月 21 日発行

著作権所有兼発行者 国土地理院